

特急列車が沿線にもたらす非市場的な価値の評価手法

奥田大樹 深澤紀子 松本涼佑

鉄道事業や鉄道整備事業は、鉄道の直接的な利用者だけではなく、社会一般に様々な効果をもたらします。従来、これら事業の経済性の評価では、鉄道の直接的な利用者にもたらされる効果の評価に重点が置かれ、社会一般にもたらされるその他の効果は、その一部しか評価されていません。この理由としては、評価対象となっていない効果の多くが、市場取引を介さない（金銭で売買されない）非市場的な価値であり、定量的な推定が難しい点などが挙げられます。本研究では、鉄道の非市場的な価値の一つであるオプション価値に着目し、地方都市圏で運行されている特急列車の現状のサービスやそのサービス水準の向上によって、特急非利用者にもたらされるその価値の定量的な推定を実

施しました。そして、四国地方をモデル地域としたケーススタディで、鉄道事業や鉄道整備事業の経済性評価において、オプション価値を考慮することの効果や必要性を示しました。

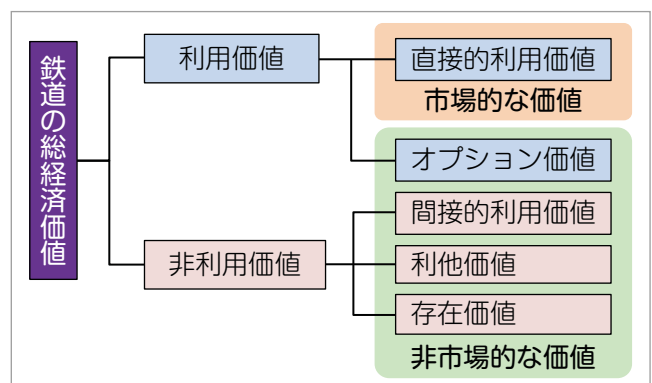


図 鉄道（Railway）の総経済価値（Total Economic Value）の分類